

自治体名	山形県小国町
自治体の概要	<p>小国町役場 〒999-1363 山形県西置賜郡小国町大字小国小坂町 2-70</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人口 6,926人 (R5.1.31 現在) ○老年人口 40.6% (R2) ○面積 737.56 km² > 東京 23 区 ○森林面積 93.8% ○宅地面積 0.4% ○最大積雪深 233cm (町中心部) ○根雪期間 116 日 ○産業別総生産 第1次 8.0% 第2次 43.6% 第3次 48.3%
アクセス方法	<p>【東京駅】～山形新幹線(2時間)～【米沢駅】～JR米坂線(1時間30分) ～【小国駅】 *JR米坂線は、R4.8月の豪雨災害により途中代行バス運行</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交通費 片道 約12,000円
主な特色 PRポイント	<p>山形県の西南端に位置する小国町は、東京23区がすっぽり収まるほどのとても大きな町です。総面積の約9割が森林で、そのほとんどがブナを中心とした広葉樹林です。周囲を朝日連峰と飯豊連峰に囲まれ、冬は町中でも2メートル程の雪が積もる国内有数の豪雪地帯です。</p> <p>大量の雪は雪解け水となって森林を潤し、山の幸、川の幸を育みます。豊富な水資源は、町の主たる産業である製造業にも欠かせません。小国町では、雪の色とブナの木肌の色から、白をイメージカラーとし、町全体を「白い森」と呼んでいます。</p> <p>町内には自然と触れ合える場所がたくさんあります。飯豊山麓の温身平は、林野庁が森林浴効果がある森林セラピー基地として認定した第1号です。町で肥育される米沢牛や短角牛はブランド牛として有名な特産品で、また、わらびの生産量は日本一です。町内で採れるあけびのつるや山ぶどうの樹皮を編んだつる細工の籠やバッグも伝統工芸品として人気です。</p>
主な地域課題	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少 昭和30年代に約18,000人だった人口が、現在7,000人をきる状況 ・少子高齢化 老年人口の割合が、40%を超えている ・耕作放棄地の増加 H2 4,813a であったが H27 11,822a と約2.5倍に増加 ・交通の不便さ 町営バスの本数が限られておりレンタサイクル等もないため移動が不便 観光施設は広い町内に点在しているため、周遊が難しい ・DX導入の遅れ 行政手続など、様々なオンライン化が進んでいない